

コクワガタ成虫の寿命について

井口 豊

〒394-0005 長野県岡谷市山下町1-10-6 生物科学研究所

e-mail: bio.iguchi@gmail.com

コクワガタについて、野外採集した成虫と室内で幼虫から育てた成虫の寿命を調べた。その結果、両性とも成虫で約3年は生存可能であること、すなわち3回越冬可能であることが確認された。これは、成虫寿命という観点からは、本種がスジクワガタよりオオクワガタに似ていることを意味する。

両性とも野外成虫の方が寿命がやや長くなる傾向があったが、有意な差ではなかった。野外成虫と室内飼育成虫の寿命に有意差がないことは、野外で越冬生存する個体が少ないことを示唆する。

また、実験で使用された野外成虫は室内飼育成虫より大型であり、個体の大型化をもたらすような幼虫時代の好栄養条件が寿命をやや伸ばす可能性がある。

全体として雌雄の寿命を比較すると、雌の方が短かった。これは交尾や産卵が影響している可能性があるが、今回の実験ではわからなかった。